野草地に無角和牛を放牧

萩農林事務所畜産部
平成23年５月26日

５月18日（水）に、阿武町、(社)無角和種振興公社と連携して、草資源を有効活用するために、西台放牧地に４頭の無角和種の放牧を開始しました。

電気牧柵を設置した約２haのカヤ、ヨモギ、ネザサ主体の野草地で、放牧に用いた無角和種４頭は、おいしそうに野草を食べていました。今年は、春先の低温のため草の生育が心配されましたが、最近の気温上昇により、放牧地は一面緑になっています。11月末までの間は、この野草のみでの飼養管理となり、大幅な省力化とさらなる低コスト生産が図られます。

萩農林事務所畜産部は、畜産経営の効率化のために、放牧の積極的な利用を推進します。

関係者が一体となった取り組み

野草地への放牧